

Ⅵ 公務特待生推薦

Ⅵ-1 修士課程 入学試験要項

本大学院では、平成20年度入試において創設した「公務特待生制度」について、平成27年度入試より、募集対象となる「公務特待生」(修士課程、研究生)の範囲を一段と拡充整備することといたしました。従前から募集対象とした地方公共団体の職員・議会議員のみならず、その長及び行政委員会の委員(監査も含む)のほか、国家公務員も対象に加え、さらに国公立の大学法人やその他の学校法人の教職員、公益財団法人・公益社団法人の研究員及び役職員等を主たる対象例として、「その他公務に従事する者で研究科委員会が認めるもの」についても適用する制度に改めました。

夜間大学院である本大学院社会科学部研究科公共政策専攻で学修し、修士(公共政策)の学位取得を目指す、意欲のある方々の応募を期待しております。

1. 募集人員及び入学定員

社会科学部研究科 公共政策専攻 (専ら夜間に教育を行う課程)	入学定員	公務特待生推薦(修士課程)募集人員
	20名	(若干名)

2. 出願資格(次の項目のいずれかを満たしている者)

- (1) 日本の大学を卒業した者または平成31年3月までに卒業見込みの者。
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者または平成31年3月までに卒業見込みの者。
- (3) 文部科学大臣が指定した者。(昭和28年文部省告示第5号)
- (4) 本大学院において、入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者または平成31年3月までに22歳に達する者。

※上記出願資格の(4)に該当する場合、出願に先立ち入学資格審査が必要となります。

この審査を受ける場合は、「大学院入学資格審査について(P.25)」を参照し、所定の期日までに入学資格審査を受けてください。

3. 出願条件(次のいずれかの推薦があること)

- (1) 国の行政機関及び地方公共団体の職員の場合には、所属長による推薦があること。
- (2) 地方公共団体の長及び行政委員会の委員の場合には自己推薦書、また議会の議員の場合には所属議会の議長の推薦があること。国会議員の場合には、所属政党もしくは会派の代表者による推薦があること。
- (3) その他の公務に従事する者の場合には、所属する法人等の代表者もしくは所属長の推薦があること。

ただし、上記出願資格の(3)に該当する場合は、出願受付開始の2週間前までに「その他の公務に従事する者の入学資格審査申請書」により申請し、研究科委員会において出願資格を認定されること。

(詳しくは大学院事務室まで)

4. 試験日程

出願期間 (必着締切)		試験日	合格発表日	手続締切日 (必着締切)
公務特待生Ⅰ (修士課程)	平成30年 9月21日(金)～10月5日(金)	平成30年 10月13日(土)	平成30年 10月18日(木)	平成30年 11月2日(金)
公務特待生Ⅱ (修士課程)	平成31年 1月18日(金)～2月1日(金)	平成31年 2月9日(土)	平成31年 2月14日(木)	平成31年 3月1日(金)

5. 選考方法

書類審査および面接試験とし、学力試験は行いません。

面接は主に、研究計画書に関連した内容について試問します。

6. 試験会場

山梨県甲府市酒折2-4-5 山梨学院大学 50号館 (大学院棟)

7. 出願手続

(1) 出願書類等

出願書類等	備 考
入学願書 (A)	本学所定の用紙を使用。必要事項を記入し写真を糊付。 (写真サイズ：4 cm×3 cm)
志願写真票 (B)	本学所定の用紙を使用。必要事項を記入し写真を糊付。 (写真サイズ：4 cm×3 cm)
出身大学の卒業証明書 あるいは卒業見込み証明書	原則として出願の3ヶ月以内に交付されたもの。
※出身大学の成績証明書	原則として出願の3ヶ月以内に交付されたもの。 <u>※卒業見込者(新卒者)のみ必要です。</u>
推薦書 (本学所定の用紙)	本学所定の用紙を使用。 ※大学院のホームページよりダウンロードしてください。
研究計画書 (本学所定)	本学所定の用紙を使用し、本大学院でいかなる研究をしたいのかを具体的に記入してください。 ※大学院のホームページよりダウンロードしてください。 (手書き不可)
返送用封筒 (本学所定)	出願書類の返送は、同封されている本学所定の封筒を使用してください。
受験料 35,000円	同封の所定用紙、振込依頼書 (D) を使用して金融機関から払い込んでください。

(2) 出願方法

- ・出願期間内に本学入試センターまで持参 (平日9:00～17:00のみ受付) または郵送してください。
- ・本学入試センターでは、願書受け付け処理後に受験票を本人宛に郵送します。
試験日2日前になっても受験票が届かない場合は、本学入試センターに問い合わせてください。
- ・提出された出願書類、受験料は理由の如何にかかわらず返還いたしません。

8. 合格発表

合否にかかわらず各自に郵送で結果を通知します。電話での問い合わせには応じられません。
また、掲示での発表は行いません。
なお、合格者には、入学手続書類も併せて送付します。

9. 演習科目の変更について

本大学院では、出願時に提出された「研究計画書」の研究内容や面接での試問の内容によっては、入学後の研究のために最適な演習科目として、第2、第3志望の演習科目に変更させる場合があります。

10. 入学手続

合格者は、入学手続締切日までに11. 学費等納入金を納め、入学手続書類を提出してください。

11. 学費等納入金

公務特待生に対して入学金を免除し、在学2年間の授業料等（授業料、教育充実費の合計額）を半額に減免します。

項目	公務特待生(修士課程)			一般学生(修士課程)		
	前期	後期	年額	前期	後期	年額
※1 入学金	－	－	－	200,000円	－	200,000円
授業料	125,000円	125,000円	250,000円	250,000円	250,000円	500,000円
教育充実費	80,000円	80,000円	160,000円	160,000円	160,000円	320,000円
合計	205,000円	205,000円	410,000円	610,000円	410,000円	1,020,000円

※1 公務特待生に対する入学金は免除します。

※入学辞退者の納入金返還制度について

所定の手続期間内に入学手続を完了した方のうち、平成31年3月31日(日)「必着」までに入学辞退を申し出た方については、納入金を返還いたします。なお、納入金返還のための手続書類は、必要な方のみ郵送していますので、合格発表日以降、電話でご請求ください。

(※納入金の返還は、平成31年4月上旬を予定しています)